

子ども手当について



子ども手当制度を設けた趣旨は何ですか。



子育てにかかる予算で見ると、先進国の中で日本は GDP 比で最も少ない国の一つとなっており、合計特殊出生率も G7 諸国中最低です。こうした状況を踏まえ、次代を担う子どもの育ちを社会全体で応援するという観点から、子ども手当を実施します。

- ・ 子ども手当は、次代を担う子どもの育ちを社会全体で応援するという観点から実施するものです。
- ・ 子ども手当の創設の背景としては、少子化が進展する中で、安心して子育てをできる環境を整備することが喫緊の課題となっていることがあります。特に、子育て世帯からは、子育てや教育にお金がかかるので、経済面での支援を求める声が強いという状況にあります。
- ・ 他方、子育てにかかる予算で見ると、先進国の中で日本は GDP 比で最も少ない国の一つとなっています。また、合計特殊出生率も G7 諸国中最低となっています。
さらに、少子高齢化が進展し、現在は、3人の現役世代で1人のお年寄りを支える形になっていますが、2055年には1人の現役世代で1人のお年寄りを支える状況となることを見込まれており、思い切った対策を講ずることが求められています。
- ・ こうした状況も踏まえ、子ども手当については、子育てを未来への投資として、次代を担う子どもの健やかな育ちを個人の問題とするのではなく、社会全体で応援するという観点から実施するものであり、子どもを安心して生み育てることができる社会の構築に向けた大きな第一歩であると考えています。